

V 県民の文化活動を盛んにする

1 文化の振興

(1) 県民文化芸術活動の振興 << 施策 25 >>

社会教育課

平成29年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 次代を担う子どもたちの創造性を育み、多様な個性と豊かな人間性の形成を図るため、関係機関との連携を強化しながら、子どもの文化芸術活動を推進します。
- ◇ 県立美術館の機能充実に努め、県民の鑑賞・創作活動の促進を図ります。

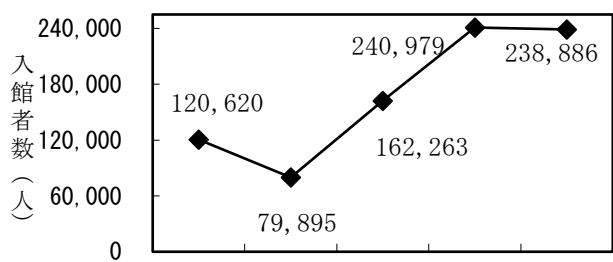
平成29年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
「子ども文化事業」及び「芸術体験講座」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民文化祭「鑑賞・発表事業」の実施 3市1町 ○ 県民文化祭「芸術体験講座」の実施 20校 (小学校 15校、中学校 1校、特別支援学校 4校)
中学校文化連盟 ^{注1)} 、高等学校芸術・文化連盟 ^{注2)} への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県芸術・文化活動事業補助金の交付 ○ 総合文化祭の開催に関する広報協力など
県立美術館の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 展覧会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展 (コレクション展Ⅰ) 「特集：生誕120年 中村琢二 瑞々しき画布の輝き」 (コレクション展Ⅱ) 「特集：風景をとらえる」 (コレクション展Ⅲ) 「特集：美術館は動物園！」 ・ 企画展 「郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA－「風景」の向こう側－」 「没後50年 中村研一展」 ・ 実行委員会展 「POWER OF PRINCESS 「ディズニー プリンセスとアナと雪の女王展」 「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」 ・ 平成29年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」 (飯塚市で開催) ・ 第73回福岡県美術展覧会(県展) (出品総数 3,235点、入選総数 1,347点) ○ 県民の芸術活動発表の場としての展示室貸出(54団体) ○ 美術館レター「とっぷらいと」の発行(年3回)及び美術教養講座等の実施 ○ スクール・ミュージアム事業(アートコース)の実施(30校)

指 標

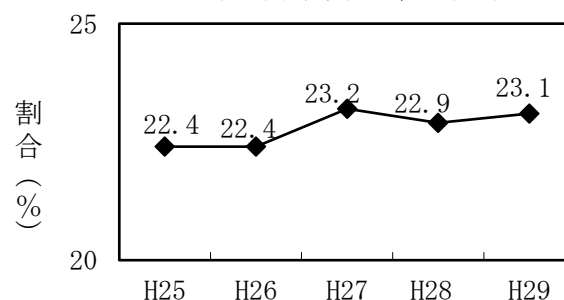
指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
県立美術館の利用	県立美術館入館者数	238,886 人 (H29 年度)	160,000 人 (毎年度)	◎
文化部活動の推進	芸術・文化系の部活動に参加している 県立高等学校生徒の割合	23.1% (H29 年度)	23% (毎年度)	◎

県立美術館の入館者数



※ 平成 26 年 1 月～8 月美術館耐震改修工事のため休館

芸術・文化系の部活動に参加している
県立高等学校生徒の割合



成 果

県立美術館において、県民の芸術的ニーズに応えた展覧会を開催できたことにより、入館者数が目標値を大きく上回りました。

- ・ 県民文化祭において、知事部局と連携し、「鑑賞・発表事業」を県内市町村で、「芸術体験講座」を県内の小・中・特別支援学校で実施しました。特に「芸術体験講座」において、楽器演奏、能楽、和太鼓等の体験及び鑑賞を行ったことが、児童生徒から好評価を得ています。
- ・ 福岡県高等学校芸術・文化連盟及び福岡県中学校文化連盟の主催する総合文化祭の開催等に対し支援を行ったことにより、生徒の文化芸術活動の充実が図られました。
- ・ 県立美術館においては、「ディズニープリンセスとアナと雪の女王展」や「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」など県民のニーズに応えた展覧会が開催できたことや広報に力を入れたことにより、入館者数は目標値を大きく上回りました。

課 題

福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

- ① 今後も引き続き県民の美術に関する鑑賞・創作意欲を高めていく必要があります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

対 応

マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報や、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

- ① 県立美術館において、県民の芸術的ニーズを重視した実行委員会展を今後も開催するとともに、これまで蓄積した県立美術館の財産やノウハウを生かした展覧会を開催するなど、県民の美術に関する鑑賞・創作活動の更なる促進を図ります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）の出品数の増加や集客力を高める取組として、マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報や、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

注 釈

- 注 1) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等 11 の専門部を有する。
- 注 2) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等 19 の専門部会を有する。

V 県民の文化活動を盛んにする

1 文化の振興

(2) 文化財の保存・活用及び継承 <<施策26>>

文化財保護課

平成29年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 歴史と伝統に培われた貴重な文化財を永く後世に伝えるため、福岡県文化財保護基本指針を踏まえ、保護活動の充実を図り、情報提供や文化財に対する理解を深める施策を推進します。
- ◇ 地域の文化や特色を伝承する民俗芸能及び伝統工芸技術を確実に保存し、積極的に活用しながら後世への継承を図るとともに、大宰府関連史跡を始めとする重要大規模遺跡等の保存・整備・活用を進めます。
- ◇ 子どもたちが郷土と日本の歴史、文化、伝統などに対する理解を深め、これらを大切に思う心を育成します。

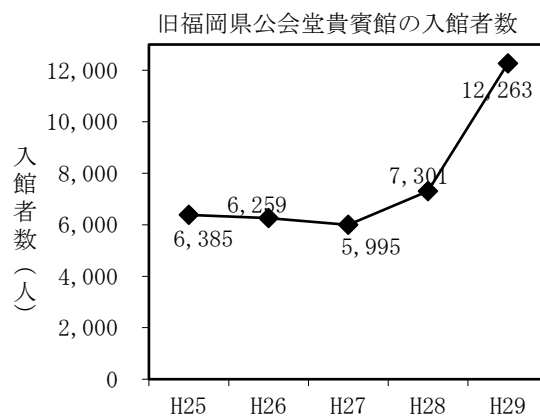
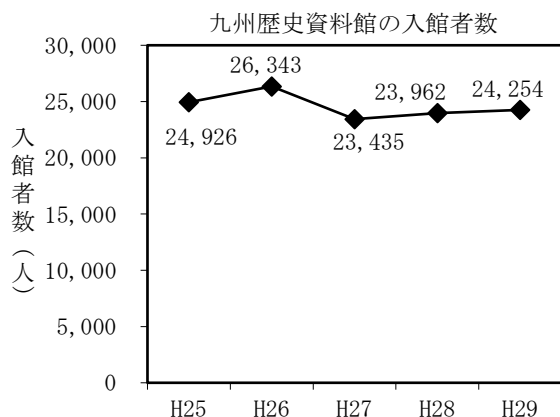
平成29年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
文化財保護指導委員による保護活動の充実と文化財保護思想の普及啓発	○ 文化財保護指導委員（17人）による県内の文化財巡視 年間延べ 1,494件
九州歴史資料館の利用促進、調査・研究の充実	○ 特別展（1回） 「霊峰英彦山ー神仏と人と自然とー」 ○ 企画展（10回） 「きゅうおにとタイムトラベル」 「五ヶ山～山のくらし、いのり、そして埋納銭～」 「堅粕薬師と東光院の古仏たち」 「炭鉱と学校の昭和史」 「船原古墳出土馬冑・ガラス装金銅製辻金具」等 ○ パネル展（8回） 「福岡鉄道遺産ものがたり5～筑豊本線・日田彦山線編～」 「日本列島の城」 「ユネスコ無形文化遺産～山・鉾・屋台行事」等 ○ 教育普及講座（38回） 名誉館長講座、九歴講座、九歴ゼミ、夜のギャラリートーク、特別展開催記念講演会等 5,042人参加 ○ イベント（19回） 七夕イベント、ナイトミュージアム等 3,841人参加 ○ ボランティアによる古代体験・バックヤード解説 5,358人参加 ○ 小中学校の来館学習、出前講座等 3,408人参加
旧福岡県公会堂貴賓館の利用促進 <重点事業17>	○ 展示・案内解説等の充実 解説板・案内サイン等の設置、多言語による音声解説、ミニシアターコーナーやレトロ映像再現コーナーの整備 ○ 壁紙・絨毯の復原・張替及び屋外テラスの整備等 ○ 指定管理者によるフラワー教室、朗読会、コンサート等自主事業（34件）の実施
大宰府関連史跡の公有化の推進等重要大規模遺跡の保存・整備・活用	○ 大野城跡ほかの公有化（H29実績：43,825.85m ² ）への県費補助 ○ 大野城跡・水城跡の環境整備の推進 ○ 重要大規模遺跡の保存・整備・活用に関する市町村が進める各種事業への助言

指 標

指 標	指 標 の 概 要	
九州歴史資料館の利用	九州歴史資料館 入館者数	
現状値	目標値	達成状況
24,254人 (H29年度)	35,000人 (H33年度)	△

指 標	指 標 の 概 要	
旧福岡県公会堂貴賓館の利用	旧福岡県公会堂貴賓館 入館者数	
現状値	目標値	達成状況
12,263人 (H29年度)	6,800人 (毎年度)	◎



成 果 旧福岡県公会堂貴賓館は、目標値を大きく上回り、過去最高の入館者数を記録しました。

- 文化財保護指導委員による定期的な巡視は、県内文化財の毀損や問題点等を早期に発見することができるなど、文化財の適切な保存管理や防災・防犯に必要な対応策を講じるためにも有効な活動でした。
- 九州歴史資料館では、常設展をはじめ、特別展、企画展、教育普及講座、各種イベントや九歴ボランティア^{注1)}による古代体験等により、発掘調査の成果や大宰府史跡等の歴史文化遺産の魅力を様々な方法で発信しました。
- 旧福岡県公会堂貴賓館では、指定管理者による自主事業の開催回数の増加やカフェ・売店などの新規事業の開始、積極的な広報活動などにより、入館者数は過去最高を記録し、大幅に目標値を超えることができました。また、展示・案内解説等の充実、内装や屋外テラス等の整備を行うことにより、観光資源としての魅力を高めることができました。
- 大宰府史跡公有化事業により、史跡指定地の更なる保存が図られました。また、大野城跡・水城跡の環境整備や重要大規模遺跡における各種事業への助言により、史跡の保存・整備・活用を推進しました。

課 題 九州歴史資料館では、新たな入館者の開拓につながる取組が必要です。

- 九州歴史資料館では、多彩なイベントや展示を実施しており、入館者は横ばいで推移しているものの、目標値を下回っている現状があります。館周辺の開発も進んでおり、近隣住民を含む新たな入館者の開拓につながる取組が必要です。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、今後もより多くの方へ、その価値や魅力を発信していく必要があります。

対 応 九州歴史資料館においては、市町村や学校、民間企業等と連携した展示やイベントを実施します。

- 九州歴史資料館においては、入館者の拡充を図るため、県内市町村や他県施設と連携した展示や講演会等を開催するとともに、学校や民間企業等と連携したイベントを実施します。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、指定管理者と連携協力しながら、貴賓館の魅力を生かした事業を実施するとともに、ホームページや各種媒体を活用した積極的な情報発信を行います。

注 釈

注1) 九歴ボランティア：九州歴史資料館では、土曜、日曜、祝日に、歴史体験イベントや館内案内に必要な知識・技能を身に付けたボランティアによる研修講座や体験イベント、バックヤード解説を行っている。平成30年3月現在、32人が登録されている。